

NHO TALK SESSION



特集 スペシャル座談会企画

NHO理事長 × 臨床研修医

国立病院機構(NHO)の新木一弘理事長と東京医療センターの臨床研修医4名による座談会を開催。NHOの研修環境、医師としてのやりがいや成長、未来を担う医師へ贈る理事長からのメッセージなど、対話を通して見えてきたNHOが目指す医療と“強み”、そして充実したキャリアを築くヒントとは――。



理事長
新木 一弘 あらき かずひろ

PROFILE

1985年 慶應義塾大学 医学部 卒業
1985年 厚生省 入省
2001年 厚生労働省 医政局総務課 医療安全推進室長
2003年 広島県 福祉保健部長
2006年 厚生労働省 医政局研究開発振興課長
2008年 文部科学省 高等教育局医学教育課長
2011年 社会保険診療報酬支払基金審議役
2012年 厚生労働省 大臣官房付
2012年 南魚沼市立 ゆきぐに大和病院 院長
2013年 福島県立医科大学 客員教授
2016年 慶應義塾大学 医学部 特任教授
2017年 国立病院機構 東京医療センター 副院長
2020年 国立病院機構 東京医療センター 院長
2020年 国立病院機構 理事(非常勤)

NHO独自の教育研修を展開 確かな基盤形成に最適な環境

理事長…NHOは5疾病6事業、セーフティネット分野の医療等、さらに各地域の医療ニーズに対応するなど、国民の負託に応え続けることが重要な使命です。そのためには優秀な人材の確保が必要であり、若い先生方にとって「確かなスキルが身に付く」「着実に成長できる」といった魅力ある病院にしていくことが大切です。NHOでは以前から教育研修事業に注力しており、教育環境や研修プログラムの充実を図っていますが、みなさんは何に惹かれて東京医療セン



ターを研修先を選んだのでしょうか。
鈴木…私は小児科医を目指しているため、研修先の条件として小児・周産期に強く、かつ、幅広い基礎力もしっかり身に付けたいと思い診療科の充実した病院を探していました。当院は複数の候補のなかで最も理想的な病院でしたし、実家から近いことも魅力でした。小さい頃に何度か受診したことがあるのですが、スタッフが患者目線ですごく良い印象を持っており、当院を第一志望にしました。
本田…僕も同じく、当院は実家から自転車で5分と近い場所にあり、住民からの評判も昔から非常に高い病院という印象です。都内にある市中病院も受けたのですが、第一志望はここだと最初から決めていました。
田中…私は産婦人科医を目指しているため、産婦人科が充実しており、初期研修のコースに「産科・婦人科医療プログラム」がある当院を志望しました。1年目の早くから、エコーや



内視鏡など、さまざまな手技をしっかり経験させていただき、かつ、丁寧な指導やフィードバックのお陰もあって、大きな成長を実感しています。
土居…僕の場合は進路が決まっておらず、幅広い診療科や症例を経験していくことで自分に合った進路を決められると思い、ほぼ全ての診療科が揃っており、救急にも強い当院を志望しました。1年経って、いろんな科に触れ、幅広い症例を経験してきたことで、どの科も魅力的に感じてしまい、逆に進路に迷いが増えましたね(笑)。
田中…診療科が充実しているため院内でほとんどの研修を完結できますし、救命救急センターを有しているため1次から3次まで幅広い症例を学ぶことができます。医師としての強い基盤形成に最適な環境で、将来、どの診療科に進もうとも専門研修への移行がスムーズにできると感じています。
理事長…NHOでは全国140病院という国内最大ネットワークの特性を活かし、NHOの病院間における研修プログラムなどを通じて各病院が得意とする領域や、セーフティネット分



野の医療など一般の病院では経験できない領域の知識やスキルを学べることも他にはない独自の強みです。また、都市部と地方の病院では、求められる病院機能も医師の役割も異なってきます。「ここで求められていることは何か」をしっかり意識しながら研鑽を積むことで、一つひとつの経験に意義が生まれ、医師としての幅も広がるでしょう。

「ここでずっと働き続けたい」

そう思えるNHO病院に

鈴木…先生方はみなさん人間性も豊かで、相談もしやすく、研修医一人ひとりの性格や能力に合わせて丁寧に指導をしてくださいます。安心して研修に臨むことができる指導体制や雰囲気の良い大きな魅力だと感じています。

田中…コンサルトもしやすいですよ。それと、救急外来では研修医がファーストタッチをするのですが、一人で責任を負うことは決してありません。上の先生に相談をして、きめ細かなアドバイスをいただきながら検査オーダーや治療方針を決めていきます。バックアップ体制がしっかりしているため、安心して救急や当直に臨むことができます。

土居…安心だからこそ救急や当直でも積極的に診療に臨むことができ、多くの症例を経験できたことで、1年後には適切な問診や最低限の検査によって入院か帰宅かを判断できるようになりました。安心して経験できる環境は大きく成長するためにとっても大切な要素だと思います。

本田…どの先生にも声を掛けやすく、優しく教えていただけるのは、何かと不安の多い研修医にとって非常に心強い環境ですね。

田中…研修環境がとても充実しており、かつ働きやすい環境にあるため、専攻医として残る先生も多いです。私も専攻医として引き続き当院で研鑽を積みたいと思っています。

理事長…地域に親しまれ、信頼される病院であり続けるための一番の基盤となるのは、職員たちにとって“働きやすい”“やりがいがある”“頑張っている人が報われる”病院だと思っ

ています。若い先生方が、「専攻医として残りたい」「ここでずっと働き続けたい」と実感できる病院をつくっていきたいですね。

本田…全国のNHO病院の研修医たちと交流をしながら勉強ができる『良質な医師を育てる研修』や、当院では専攻医の先生が個人的に勉強会を開いてくださるなど、学ぶ機会が豊富にあることも嬉しいです。

理事長…NHOでは、毎年多彩なテーマで、全国のNHO病院の各領域のスペシャリストたちから実践知識やスキルを学ぶことができる『良質な医師を育てる研修』を開催しています。学びの場所は自院に限りません。NHOのスケールメリットを活かした学びの機会をどんどん活用してください。



求められるコミュニケーション力 “いま”を一生懸命に、誠実に

鈴木…医師になって驚いたことは、病院で働いている方々が想像以上に多くいることでした。日々、大勢の多職種のみなさんに支えられ、助けていただいているからこそ、医師としての仕事ができているんだと感じています。

理事長…医師は多職種と協働するチーム医療のリーダーであり、各職種が専門性を最大限発揮できるチーム作りの要を担っています。質の高い医療を提供するために、今やどこで働こうともチーム医療は不可欠です。チーム医療のリーダーとしての自覚や多職種とのコミュニケーションを意識して研鑽に励んでほしいですね。

土居…コミュニケーションでいうと、研修を始めて実感したのは、一人ひとりの患者さんに最適な治療を提供するには、知識や技術はもちろん、患者さんの生活背景や考え方を知ることが重要であり、そのためにはコミュニケーションもすごく大切だということです。できるだけ患者さんと話す時間をとることを強く意識しています。

田中…総合内科を回っているとき、長期入院されている患者さんと毎日



理事長との座談会を終えて

一般コース
臨床研修医 2 年目
土居 明弘



出身地：東京都
出身大学：帝京大学(2024年度卒)
宝物：患者さんの笑顔
座右の銘：大事なものはどう生まれついたかではなく、どう育ったのかじゃよハリー

新木理事長は患者さんへの配慮は勿論のこと、私たち臨床研修医をはじめとする病院職員一人ひとりの働く環境や成長にも目を向け、病院経営にあたられている事を強く感じました。

産婦人科コース
臨床研修医 2 年目
田中 葉月



出身地：東京都
出身大学：山口大学(2024年度卒)
宝物：家族
座右の銘：日々是好日

理事長のご経歴やNHOの構想を伺えたことは大変貴重な経験でした。お言葉の通り、日々を一生懸命に生き、医療の未来という広い視点も大切にしながら研修に励んで参ります。

一般コース
臨床研修医 1 年目
本田 滉



出身地：東京都
出身大学：日本大学(2025年度卒)
宝物：環境
座右の銘：継続

理事長とお話できる機会があるとは思ってなかったのですが、貴重な経験ができました。座談会自体も話しやすい雰囲気を作って下さり有意義な時間となりました。

小児医療コース
臨床研修医 1 年目
鈴木 ありさ



出身地：東京都
出身大学：順天堂大学(2025年度卒)
宝物：家族
座右の銘：思い立ったら吉日

経営陣から見た病院、医療についてのご意見を拝聴し、多くの気づきを得ることができました。また、アドバイス、激励をいただき、より一層研修に励みたいと思いました。

会って話すうちに、患者さんから自然と笑顔が生まれるようになったんです。コミュニケーションの大切さを実感しましたね。

理事長…患者さんのバックグラウンドを考慮しながら、より良い人生を送ることができるようサポートするのが医師としての大切な役割であり、そのために必要なのは患者さんに対する誠実さとコミュニケーション力です。AIの登場など、将来、医療技術がどれだけ発展しても、そこは未来永劫、医師にしかできないことだと思います。将来にわたって必要とされ、信頼される医師であり続けるために、誠実さとコミュニケーション力は重要な基盤となるはずですよ。

本田…研修が始まった頃はできないことばかりで、「自分は医師に向いていないのでは」と感じることもありましたが、日々、経験を積み重ねていくうちに出来る事が着実に増え、今では目の前のことに誠実に取り組んでいけば、信頼される医師になれると思うようになりました。NHOの恵まれた研修環境を目一杯活用し、一生懸命に研鑽に励みたいと思っています。

理事長…キャリア形成で大切なことは、“いま”の仕事に誠実に向き合い、一生懸命に取り組むことです。私は大学卒業後、厚生省に入省し、最初は1、2年の社会経験のつもりでしたが、技官として27年間働きました。その後、新潟県の病院で臨床を一から学び、大学の特任教授、東京医療センターの院長などを経て、現在はNHOの理事長をしています。これまでの歩みに明確なキャリアプランがあったわけではなく、与えられた目の前の仕事に誠実に向き合い、取り組んできたことで進むべき道が見えてきました。たとえ望んでいない仕事でも、「あの時の経験が役立っている」と思う時が必ず来ます。“いま”を誠実に取り組み、充実したキャリアを築きながら将来の医療界を担うリーダーになってください。みなさんの活躍を楽しみにしています。